

西田守男

西田守男

（現場）からの風

稻刈りが済んだ耕作地の上空にトンボが乱舞する季節だが、全国的にはトンボの減少が著しいとの情報だ。トンボは田んぼの害虫を

食べるから「田の神」と呼ぶ地域もある。涼やかな秋風と野の香りが吹き込んでくるようなトンボが乱舞する故郷の情景を残したいものだ。

19都道府県の緊急事態宣言と8県に出ていたまん延防止等重点措置が9月末解除された。

これまで新型コロナへの対応で、強い行動制限で感染を封じ込める「ハンマー」と

感染防止と経済回復とのバランスをとる「ダンス」の繰り替えしだったため、「ハンマー

&ダンス」のたとえ用語が誕生したほどだ。

コロナ禍では異論を取り込む懐の深さが大切だ

16・1%と集計され

いが「貯蓄ゼロ世帯の割合」の内容を知る人は少ない。アンケート調査での金融資産は、口座の種類にか

かわらず「運用するためもしくは将来に備えるためのお金」でそれを「保有しているの

が今後の日本経済にどう影響でその数値の増減

が今後の日本経済にどう影響するのか見

守るべきなのだろう

た。

陰曆の9月の晦日は、全国八百万の神々が出雲向けて旅立つのが送る神事の日でもある。神送りには、禍の神を追い払う意味があるので、新型コロナウイルスとう厄病も

の酒類の提供も可能となり、我慢を重ねすぎた反動がどのような形で現れるか心配になって

民の命と生活を守るために活動をどのようにして行くか改めて一人一人が考

える時期なのかもしない。

コロナ禍で困窮する生活実態の情報が多く聞こえてくる。「貯蓄ゼロの世帯の割合」が報道される。2

020年の金融広報中央委員会によるアンケート調査では、貯蓄ゼロ割合は、単身世帯で36・2%、2人以上世帯で2%

しまつ。社会心理学では、「集団思考」に陥り、「イエスマン」ばかりになつて大きな失敗を犯すリスクがある。

「皆でやれば怖くない」では無く、異論を

取り込む懐の深さが求められるのだろう。国

山田耕作さん作曲の「赤トンボ」「夕焼、小焼のあかトンボ」とまつて、『竿の先』と思わず口ずさんでしまう。

（信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上）